

V. 学生協議会による最終提案の概要および事業実施経過概要

1. 学生協議会による最終提案の概要

学生協議会においては5つの協議会が組織され、6つの介護ロボットの提案がなされた。例えば、オークリー（Aチーム）では、コミュニケーションロボットとオムツの販売・処理を行うロボットが提案された（図v-1-1）。モビリティ専隊令和X（Bチーム）では、パーキンソン病の方に対して歩行の楽しさおよび安全をもたらすロボットが提案された（図v-1-2）。ガガーリン（Cチーム）では、認知症の方を対象に入れ歯の紛失を顔認証システムと磁場カメラを使用した見守りロボットを提案した（図v-1-3）。D（Dチーム）では、施設利用する前の高齢者に対して趣味の共有を目的にした、豊かで楽しい生活が送れるWA t o E Nというマッチングアプリを提案した（図v-1-4）。A m a z e（Eチーム）では、認知に問題がない後期高齢者を対象に、薬の飲み忘れ・管理などを解決するロボットを提案した（図v-1-5）。以下に、学生協議会による介護ロボットの最終提案概要として、成果報告会で使用した展示用パネルデザインを示す。

介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会 学生協議会


学生協議会とは？

工学・医療・福祉・デザイン・社会科学・人文科学系の
様々な分野の学生で構成されている協議会です。
協議会では、介護現場の見学や介護職員への
ヒアリングを通して、解決すべき課題（ニーズ）を調査し、
それを解決する介護ロボットの提案を行います。

工学・医療・福祉・デザイン・社会科学系・人文科学系の
様々な分野の学生が大学を越えて共に創る！

介護ロボットアイデアチャレンジ

～ テクノロジーを楽しく使い、
自分らしく生きられる社会をめざして ～



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局 ☎03-5826-7871

介護ロボット アイデアチャレンジ

チーム名 OOCRE オークリー (Only One CREation)

千葉大学

看護学研究科 : 澤田 幸穂
融合理工学府 : 海老沢 啓介
デザインコース : 山本 怜奈
国際教養学科 : 開沼 優希

千葉工業大学

デザイン科 : 福山 和希
柿崎 光
機械工学科 : 清水 駿介
飯田 和虎

城西国際大学

理学療法学科 : 宮崎 雅貴
介護福祉コース : 佐藤 友弥

委員長 中村美緒 (作業療法士)

①コミュニケーションロボット



誰に？

- ・70-80代男性
- ・変形性膝関節症
- ・普段あまり外出しない



これがあれば...



呼ぶと来る
分別してくれる
お喋りできる
ゴミ捨てラクラク

②多機 NEW トイレ



誰に？

- ・75才男性
- ・釣りが大好き
- ・紙おむつ使用



これがあれば...



簡単に購入できる
圧縮・消臭効果あり
フィッティングボードで
ラクラク履き替え

介護ロボット アイデアチャレンジ

チーム名 **モビリティ専隊 令和X**

千葉大学

総合工学科 : 富田 繭子
加藤 由宇
看護学研究科 : 栗石 英里
人文社会学研究会 : 佐藤 航也

千葉工業大学

機械工学科 : 樋口 有孝
デザイン科学科 : 伊藤 里菜
丸山 拓海

城西国際大学

理学療法学科 : 添田 虎太郎
石井 佑実

委員長 露崎 雄太（作業療法士）

Brilliant Walker



歩行に楽しさをプラス



対象者 パーキンソン病の方
課題 歩行の楽しさの低下、
安全の懸念

歩行器に新しく付与する機能

- ・タッチパネル
→音楽鑑賞、地図確認
- ・プロジェクター
→等間隔の線を表示

歩行管理アプリ

- ・目標、体調、距離の記録
- ・散歩コースを選べる
- ・現在地が地図でわかる
- ・総移動距離によってスタンプを獲得
- ・記録の共有



一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局 ☎03-5826-7871

図 v-1-2 モビリティ専隊令和X（Bチーム）

介護ロボット アイデアチャレンジ

チーム名

ガガーリン

千葉大学

看護学研究科：石坂 晴奈
中尾 有花
法政経学科：原崎 瑠也
総合工学科：高室 拓

千葉工業大学

機械工学科：崎山 匠
鳥飼 秀一
佐久間 慶斗
デザイン科学科：川田 夏美

城西国際大学

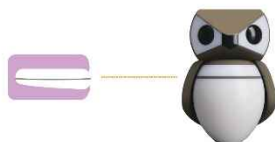
理学療法学科：平山 廉太郎
漆原 渉太

委員長 田村 孝司（作業療法士）

見守りロボット

ホーホーくん

顔認証システム
&
磁場カメラを利用

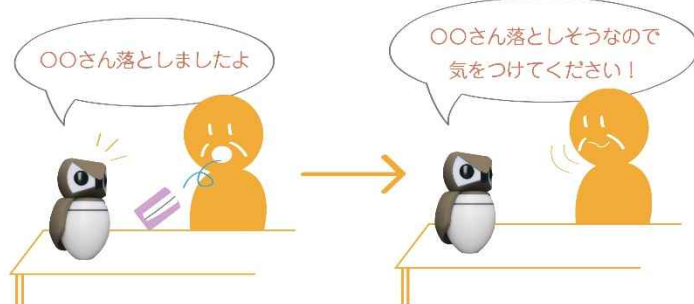


リンクさせる

対象者：認知症で入れ歯をつけている利用者

問題点：認知症の方の入れ歯の紛失で介護者と利用者共に困ってしまう。→負担になる。

Point：・360度監視するのではなく、360度見守るためのフクロウの形
・将来的には誤飲を検知することができる



顔認証 & 磁気で

落としたの知らせる

落とすタイミングを学習して

落とすのを未然に防ぐ

介護ロボット アイデアチャレンジ

チーム名 D

北里大学

リハビリテーション学科 : 吉原 翔太

女子美術大学

デザイン・工芸学科 : 瀧田 桃子
宮本 瑠華

東京医療学院大学

リハビリテーション学科 : 小畑 秀天
中川 龍之介

神奈川工科大学

ロボット・メカトロニクス学科 : 中山 紘貴
小野田 朋弥
長瀬 一生
千葉 啓喜

委員長 佐藤 隼(作業療法士)

高齢者向け趣味共有マッチングアプリ“WAtoEN”

「気持ちが落ち込むと、どんどんできなくなっていく」

私たちは自分の祖父母など、身近でそういった高齢者を見してきました。
だからこそ、施設に入るその前に趣味を通して前向きに、
入った後も、WAtoENを通して仲間と共に趣味を楽しむ。

いくつになっても趣味を通して豊かで楽しい生活を

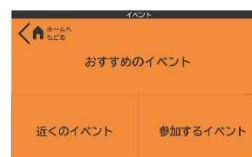
WAtoEN

対象者: 施設を利用する前段階の高齢者

問題点: 一度老化が進み、気持ちが落ち込むとどんどん老化が進むこと

解決方法: 趣味を共有し、楽しむ場や時間を提供できたら前向きになるのではないかと
施設に入る前から行うことで、その後も趣味を楽しもうという気持ち、そして
楽しめる仲間や場所ができるのではないかと

Image



一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局 ☎03-5826-7871

図 v-1-4 D (Dチーム)

介護ロボット アイデアチャレンジ

チーム名 Amaze

北里大学

作業療法学専攻：永井 司
東海林 菜

東京医療学院大学

理学療法学専攻：岡本 隆志
永松 大明

女子美術大学

プロダクトデザイン専攻：出口 萌絵
森田 春香

神奈川工科大学

ロボット・メカトロニクス学科：小林 大介
富岡 亮太
藪本 佑真

委員長 高吉 亮平(作業療法士)

MEDICAT メディキャット

対象者

認知に問題のない後期高齢者

問題点

薬の飲み忘れ・管理が面倒・
服薬に対するネガティブなイメージ

解決方法・開発のポイント

- ・通知システムを導入
- ・薬のパックを猫の頭部分にそのまま入れると
飲む分だけの薬を押し出して出てきてくれる

アピールポイント

- ・健康を招くという願いを込めて
誰もが親しみやすい猫がモチーフとなっている
- ・飲む薬を時間になると薬を必要な量出してくれる

